

2017 年度（対象年度：2016） 自己点検・評価シート

基準 8	教育研究等環境
------	---------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目	評価項目	自己評価	
No.	点検項目（評価の視点）	現状	改善
801	学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。	B	B
	①大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた教育研究等環境に関する方針の適切な明示 ・教員の教育・研究の環境整備に関する方針		
804	教育研究を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。	B	
	①研究活動を促進させるための条件の整備 ・ティーチング・アシスタント(TA)等の教育の活性化を支援する体制		

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
801①教員の教育・研究の環境整備に関する方針については、全学的課題事項として挙げられており、2016年度は研究部と協議し、「教育・研究の環境整備に関する方針」の原案を作成し、2017年度の完成に向けて検討を進めた。[801a]	
804②「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」を整備し、これに基づき、教育上必要とされる教育補助員・TAを適切に雇用している。[804a]	
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
801①	「教育・研究の環境整備に関する方針」の策定
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
801①研究部と協議し、「教育・研究の環境整備に関する方針」の原案を作成し、2017年度の完成に向けて検討を進めた。[801a]	

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
801①	2017 年度中に「教育・研究の環境整備に関する方針」を策定する。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
801	α	自己点検・評価 全学的課題事項 改善報告書
804	α	教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン

II. 評価結果

総評
801①教員の教育・研究の環境整備に関する方針については、2016 年度中に研究部と協議の上その原案を作成し、2017 年度の完成に向けて検討を進められた点は評価できる。期日として設定されている 2017 年 9 月に向け、努めていただきたい。
804②ティーチング・アシスタント(TA)等の教育の活性化を支援する体制については、「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」を整備し、教育上必要とされる教育補助員・TA を適切に配置している点は評価できる。
長所・特色《箇条書き》
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
・教員の教育・研究の環境整備に関する方針の策定（期日：2017 年 9 月）について努めていただきたい。【努力課題】